

日本のうたごえ全国交流会in愛知 合唱発表会実施のための感染防止対策

2022年11月15日

本感染防止対策は、本年12月2日および12月4日に開催する「日本のうたごえ全国交流会 in 愛知」における、合唱発表会の各部門に適用する。使用する会館が定めた感染対策を遵守しながら、対策にあたっては、次の点に留意する。

○飛沫感染および接触感染防止対策を各種ガイドラインや知見にもとづき、様々な場面におけるリスクを評価して対策を講じる。特に、人が密集することが予想される場面の「3密」回避対策を講じる。

○各団体が公平に参加できる取り組みになるように留意する。

○多くの団体が参加し、かつ出演者が観客でもあるという非常に複雑なリスクがある。当日の対策はもちろん、各自が感染防止に努めるように、その構成員一人ひとりまで周知・徹底の努力が必要である。各県協議会および参加団体へ郵送、メール等で周知徹底をはかる。またHP上でも掲載し、感染防止対策の周知に努める。

なお、本対策については、今後の感染状況の推移等により、随時見直しを行うものとする。

1. 開催前の準備段階の対策

- (1) 合唱発表会の2週間前から体調管理に注意し、発熱（37.5度以上）、咳、全身倦怠感などの症状がみられるとき、または、新型コロナウイルス感染症陽性と診断された方との濃厚接触がある場合、代表者と相談し、すみやかに各県協議会、全国協議会事務局に連絡、相談のうえ欠席する措置を講じる。
- (2) 各団体では、当日の参加者名簿（氏名、緊急連絡先）を参加部門ごとに作成し、必要に応じて提出を求められた場合は、速やかに提出できるように準備すること。開催後も2週間は保管する。
- (3) 当日の感染防止対策を事前に団体構成員全員に周知徹底する。
- (4) 分担金整理券の納入金については、できるだけ事前に入金をすませ、当日は金銭の授受を行わないように協力すること。やむを得ず、当日精算が必要な場合は、団体ごとにまとめ、指定の場所でのみ行うこと。

2. 感染対策① 全員の共通事項

- (1) 会館内では全員がマスクを常時着用する。不織布マスクとする。（演奏中もマスク着用のこと。但し、演奏中の指揮者、伴奏者については、個々の判断に委ねる）
尚、形状は、感染防止効果の高い、顔にフィットしたものとすること。
- (2) ホール入場時にアルコール消毒および検温を行う。各部屋前にアルコール消毒液を常備するので、こまめな消毒と手洗いをを行う。
- (3) 会館内の各部屋は、定員を守り、指定した目的以外に使用しないこと。また要員の指示に従うこと。
できるだけ会話を控え、用事が済み次第、速やかに退出すること。
- (4) 複数団体の出演者で着替えが必要な場合は、指定された場所で行うこと。会話を控え、できるだけ短時間ですませること。
- (5) 会館内での食事は、指定する場所でのみ行い、食事中は会話をせず、黙食に努める。注文したお弁当のゴミは指定の場所に捨てること。それ以外の個々のゴミは持ち帰ること。

3. 感染対策② 会館内での移動

- (1) 会館内での移動は、人との距離に留意し(1m程度)、密をさけるよう努めること。客席通路、ホワイエ、舞台への通路、控室前の通路、荷物置き場などでは、出演待機以外は長時間滞留しない。会話を極力控える。
- (2) リハーサル室から舞台への移動等は、決められた導線によること。(使用会館ごとに別途定める)
- (3) エレベータ、ドアの取っ手等の接触感染防止について注意を喚起する。可能な限り階段利用を推奨する。
- (4) 荷物は、出演時には指定の場所に団体ごとにまとめて保管する。荷物置き場で密にならないように注意する。荷物を減らすように各自が努力する。

4. 感染対策③ ホワイエおよび客席

- (1) 出演待機以外は、ホワイエで滞留しない。
- (2) 座席の最前列は、舞台上から2m以上を確保するため着席を禁止する。(着席禁止を掲示)
- (3) 客席の配席は定員の100%とされているが、密にならないようお互いが注意し着席すること。客席内に要員を配置し、密にならないよう注意を促す。
- (4) 客席での会話を極力行わないように徹底する。
- (5) 客席が密になりそうな場合は、入場制限を行う場合もある。その場合は要員の指示に従うこと。

以上